

本書の刊行にあたって

『大平正芳回想録』の刊行は、昭和五十五年六月十二日の故大平総理の突然の逝去後、間もなく企画されました。各界の皆様の御賛同の下に、故総理の身近にお仕えした人々を編集委員とし、私ども両名を代表世話人とする「大平正芳回想録刊行会」が組織され、第一巻『追想編』、第二巻『伝記編』、第三巻『資料編』の全三巻が、昭和五十七年の故総理の三回忌までに逐次上梓されました。

しかしながら、我々の悩みは、限定出版という性格上、この『回想録』の存在を知って入手を希望される一般読者の方の求めに応ずることができなかったことであります。したがって、このたび、鹿島出版会から、全三巻中、第一巻『伝記編』が出版され、はじめて江湖の読者の皆様の御批判を仰ぐ運びとなったことは、我々のこの上ない喜びであります。

『伝記編』編纂の方針や経緯については、企画の当初から監修をお願いした公文俊平（東京大学）、香山健一（学習院大学）、佐藤誠三郎（東京大学）の三教授による巻末の文章に詳しく述べられており、愚見を付け加えるまでもありません。私どもとしてはただ、『回想録』の刊行について御尽力を賜わった方々、ならびに文中の引用、インタビュー取材等でお世話になった皆様に、心からの感謝を捧げる次第であります。

なお、本書を出版するにあたり、装偵を変更し、巻末に『略年譜』ならびに『参考文献』を付加しました。本文内容については、明らかな誤記誤植を訂正したほかは、一切改訂を加えておりません。

昭和五十八年五月

伊 東 正 義
森 永 貞 一 郎